

進路だよい

大阪市立築港中学校

H26. 12月進路懇談用



私立、公立前期受検校決定の懇談

2回目の進路懇談が始まりました。私立は受験校だけでなく、科やコースなど時には第二、第三希望のコースまで細かく決定していかなければなりません。「併願だから、その学校には行かないし。」といいかげんな気持ちで決めてはいけません。しっかり頭の中で様々な状況をシミュレーションしてください。

今回の進路懇談で受験する私立高校は併願、専願、科、コース共に最終決定です。年明けの受験校変更はできません。12月22日の進路指導委員会は、校長先生、教頭先生その他の先生、3年生の全員の先生が参加して私立受験者、公立前期受験者の全員の成績資料を基に検討します。

ある女子生徒は何度も自分の受験する私立高校の見学や体験授業に参加し、自分の今、希望するコースの高校生に「自分が入学して合っていないなと思えば2年生で転コースできるよ。」「私は違うコースにいたけど2年生からこのコースに来てよかったです。」など体験談を聞いてきます。そういう情報を集め、後悔しないような私立受験校、科、コースを決定してください。公立前期受験校も同様に「2回の受検の機会があるから一応受検しておこう。」「まぐれで通つたらもうけもの。」などの安易な気持ちで受検すると大変なことになる場合があります。公立高校には併願という受験システムはないので合格したら入学しなければなりません。前期公立校の専門学科はカリキュラムも特殊です。大阪府全域が対象なので遠方の場合もあります。「本当にその高校で3年間勉強したいのか。」という気持ちを確かめて受験校を決定しましょう。また、自分の実力に見合わない前期公立高校を「ダメもと」で受ける、後期受検の練習として受けるというのもやめるべきです。合格発表から二週間ほどで後期公立高校の受検があります。もし残念にも不合格だった場合その期間で果たして気持ちを立て直せるでしょうか？慎重に考えて決定していきましょう。

私立、公立前期受検校決定の確認書を提出してください。

上記の通り、今回の進路懇談で決定した私立高校、公立前期高校の受検の確認書をそれぞれ提出していただきます。提出最終期限は私立は12月19日（金）、公立前期は来年の1月29日（木）です。私立専願、公立前期合格の場合は必ずその学校に進学するということも同時に確認を取らせていただきます。

私立高校の受験料の振り込みについては1月の進路相談が終了してから行ってください。受験料は1万5千～2万円ほどです。ATMから振り込めない学校もあるので、注意してください。なお、公立の受験料は全日制で2200円です。

じゅけん これからの受験の流れ

12月 22日 (月) 進路指導委員会

24日 (水) 進路懇談 (進路指導委員会の結果を受けて必要な人だけ)

1月 7日 (水) 始業式

7日 (水) ~ 9日 (金) 私学進路相談

8日 (木) ~ 9日 (金) 第5回実力テスト

27日 (火) 私学出願

29日 (木) ~ 30日 (金) 学年末テスト

2月 2日 (月) 公立前期願書配布

10日 (火) 私学入試 (面接のある学校は11日)

12日 (木) 私学合格発表 (学校によって前後)

16日 (月) 公立前期出願

20日 (金) 公立後期願書配布

23日 (月) 公立前期入試

24日 (火) 公立前期入試、実技

3月 2日 (月) 公立前期合格発表

3月 9日 (月) 公立後期出願

12日 (木) 卒業式

16日 (月) 公立後期入試

23日 (月) 公立後期合格発表

小論文、作文

練習しておきましょう。

入試当日、前期入試では小論文が実施されます。懇談時期で落ち着かないでしょうが、自分の気持ちを振り返るいい機会です。当日は時間制限もあります。

公立後期の国語の入試問題にも作文は例年必ず出題されています。決められた時間内にしっかり文章が書けるように練習しておきましょう。



私学願書は早めに 取得して担任の先生へ

私学受験校が決定したら私学の願書を取得して早めに担任の先生に一度、全部渡してください。原則、終業式までに願書はもらって提出しましょう。

見学会や説明会ではない時に願書をもらいにいく時は平日午前10時~午後4時頃までの間に私立高校の事務所の窓口で申し出ましょう。年末年始は窓口は閉まっています。願書は無料でもらえます。

公立前期、後期の願書は
中学校の方で印刷して
配布します。

